

第2回北海道・札幌2030プロモーション委員会

「共生社会の実現に向けて
～東京2020から北海道・札幌2030へ～」

公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会 委員長

河合 純一



- 競泳パラリンピアン
バルセロナ1992-ロンドン2012
6大会連続パラリンピック出場
金メダル5個を含む合計21個の
メダルを獲得(日本人最多)
- 国際パラリンピック委員会殿堂入り
(2016年 日本人初)
- 東京2020、北京2022
日本代表選手団 団長
- 東京2020アスリート委員会副委員長をはじめ
様々な検討委員会、審査員等



資料提供:東京2020組織委員会

IPC Diversity & Inclusion Policy

**Diversity is a reality.
Inclusion is a choice.**

IPC Handbook

3.3 Diversity and Inclusion Policy 2.1より

私たちの住む世界はすでに多様。
その多様な人々一人ひとりの基本的人権が尊重され、
誰でも公平・公正に
自分の意思で選択できる社会とするかどうかは「選択」

東京2020大会ビジョン 基本コンセプト

大会ビジョン

スポーツには
世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、

世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

12

TOKYO 2020

- 「多様性と調和」を発信する意味においても、「パラリンピック」は大きく取り上げられるように
- 多くのリーダーから「パラリンピックの成功なくして東京2020大会の成功なし」との発言
- 東京大会をきっかけに「共生社会」の語が一般に知られるようになった

共生社会の実現に向けて パラリンピックの果たす役割

- ✔ 物理的なアクセシビリティや障がい者に関連する法律等の改訂の契機
- ✔ 障がい者の可能性の提示。人々の認識の変化
- ✔ パラリンピックの中にある、共生社会実現につながる工夫や発想の転換への気づき
- ✔ 開催都市や組織委員会、ボランティア等に関わることで理解が進んだ人たちが、大会後地域で経験を共有

共生社会実現に向けた理解促進のための機会として
パラリンピック競技大会は極めて重要

東京2020におけるアスリート (当事者)としての役割



- 組織委員会発足直後から、理事にパラリンピック関係者が入り、アスリート委員会の構成においてもオリンピックだけでなくパラリンピアンも入り、様々な議論を行った。
- アスリート委員会発足から間もない時期の「選手村」についての会議でのオリンピックからの発言
- 当事者を交えて検討する重要性を確認、

写真提供:東京2020組織委員会

東京2020大会の成果と今後に向けて

- ・「共生社会」という言葉自体は定着した。
- ・JPC戦略計画の実施などにより、JPSA2030ビジョン実現に取り組む。

2030年ビジョン
共生社会を築く未来の姿



活力ある共生社会を
実現するために



果たすべき使命

Mission 1

パラスポーツの普及拡大の実現

- ① パラスポーツの普及拡大の促進
 - ・ 公益財団法人の設立
 - ・ 学校でのスポーツの普及拡大
 - ・ 民間企業との連携
- ② 国際的なパラスポーツの普及拡大
 - ・ スポーツの普及拡大
 - ・ スポーツの普及拡大
- ③ パラスポーツの普及拡大
 - ・ 普及拡大
 - ・ 普及拡大
- ④ パラスポーツの普及拡大
 - ・ 普及拡大
 - ・ 普及拡大

Mission 2

全国における行政、学校、関係団体等との強い連携・協働

- ① 全国における行政、学校、関係団体等との強い連携・協働
 - ・ 全国における行政、学校、関係団体等との強い連携・協働
- ② 全国における行政、学校、関係団体等との強い連携・協働
 - ・ 全国における行政、学校、関係団体等との強い連携・協働

Mission 3

競技力の向上とパラスポーツの基盤・魅力の向上

- ① 競技力の向上
 - ・ 競技力の向上
 - ・ 競技力の向上
- ② 日本での主要国際大会開催への協力
 - ・ 日本での主要国際大会開催への協力
- ③ 国際的なパラスポーツへの貢献
 - ・ 国際的なパラスポーツへの貢献

Mission 4

パラスポーツを通じた国際協力の推進

- ① 国際協力
 - ・ 国際協力



Mission 5

共生社会実現に向けた国民の意識変革の促進

- ① パラスポーツの理解促進及び啓蒙
 - ・ パラスポーツの理解促進及び啓蒙
- ② 国民の意識変革の促進
 - ・ 国民の意識変革の促進

Mission 6

JPSAの万全な基盤づくりの実現

- ① JPSAの体制の強化
 - ・ JPSAの体制の強化
- ② 財務基盤の強化
 - ・ 財務基盤の強化
- ③ 人材基盤の強化
 - ・ 人材基盤の強化



JPC戦略計画

世界を目指すパラアスリートの活躍支援戦略

- ① トリプルアスリートへの支援
 - ・ トリプルアスリートへの支援
- ② アスリート育成支援
 - ・ アスリート育成支援
- ③ JPC国際競技団体の組織力の強化
 - ・ JPC国際競技団体の組織力の強化

パラリンピックムーブメント推進戦略

- ① パラリンピックムーブメント推進
 - ・ パラリンピックムーブメント推進
- ② アスリート育成(人財)の強化
 - ・ アスリート育成(人財)の強化
- ③ 国際協力
 - ・ 国際協力

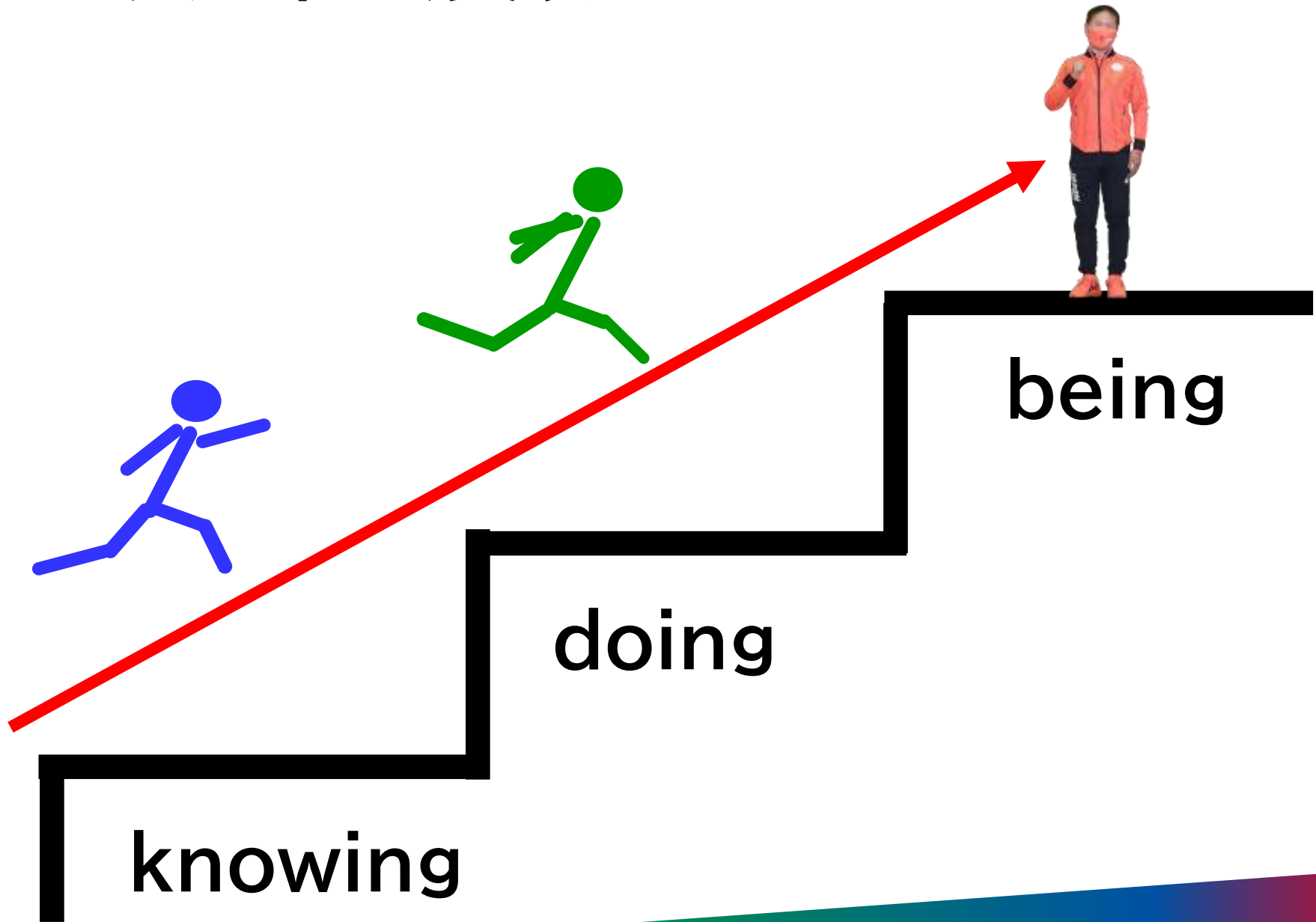


第3期スポーツ基本計画 持続可能な国際競技力向上プラン



- 時間はかかる 社会は多様性に満ちている
- イノベーションのきっかけ
インクルーシブ=排除されない
- レガシーとは後に残っているものではない

共生社会実現への3ステップ

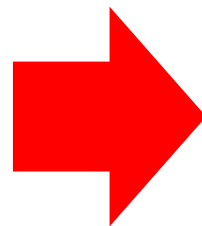


ハードのバリアはハートで超える

共生社会

共に生きる→共に生かしあえる社会

ミックスジュースではなく**フルーツポンチ**！



(共生社会のイメージ)